

株式会社ヨータイ

個人投資家向けWEB説明会

2026年2月27日

東証プライム：5357

ヨ-タイについて、覚えておいていただきたいこと

1

モノづくりの根底を支える総合耐火物メーカー

2030年ビジョン：**国内・アジアの耐火物業界で存在感ある企業**

2

継続的に **経常利益率10%以上** を達成し、高い収益性を維持している企業

3

株主還元については、第二次中期経営計画期間中は配当による還元を重視して、**配当性向60%** あるいは1株当たり **配当金85円** のいずれか高い方を目標としている

会社概要

設立

2026年
90周年

1936年

売上高

293億円

経常利益率

12.4%

業界
No.1

従業員数

538名

1882年の大阪窯業株式会社設立
から144年

定形耐火物
生産量

約7万t

業界
No.1

お客様企業数

300社超

取り扱い品目数

約5万品目

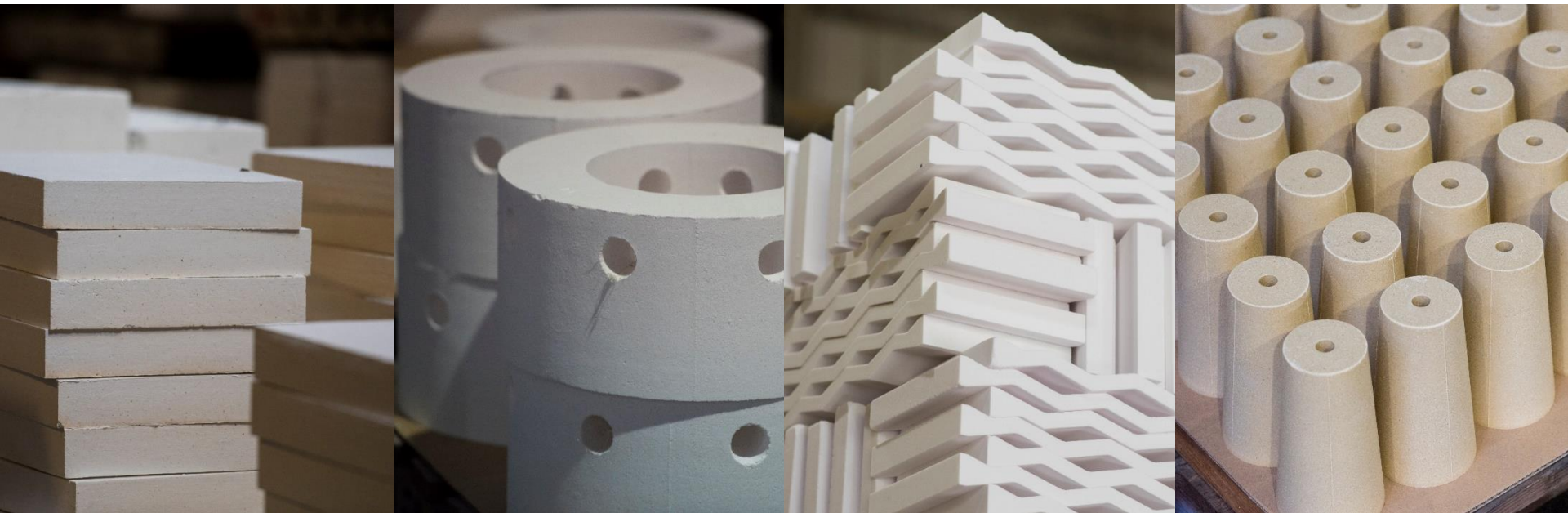
連結配当性向
目標

60%以上

※2025年3月期～2027年3月期

耐火物の総合メーカー

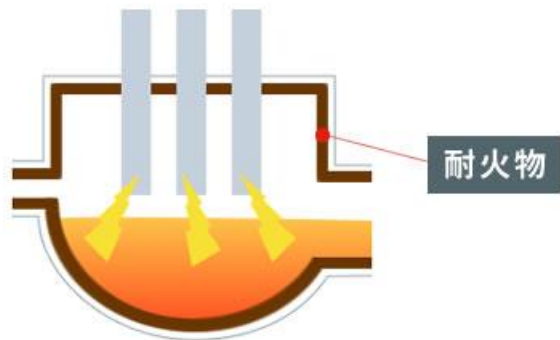
鉄やセメント、銅などの製造に「溶かす」「焼き固める」といった工程があります。
ヨータイは、そうした高温処理工程で必要不可欠な「耐火物」を供給しています。



耐火物はどのように使われているか

耐火物は、鉄やガラスを溶かす溶解炉の内張りなどに使用されている
定期的な張替や補修が必要で、お客様の操業が上向くほど当社への耐火物の需要も増加

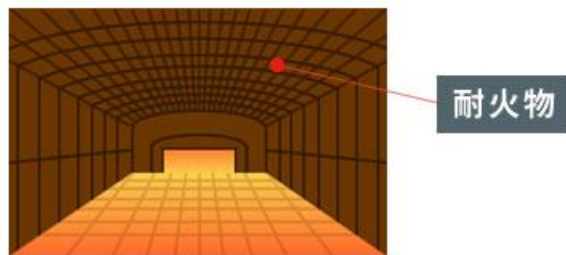
鉄鋼



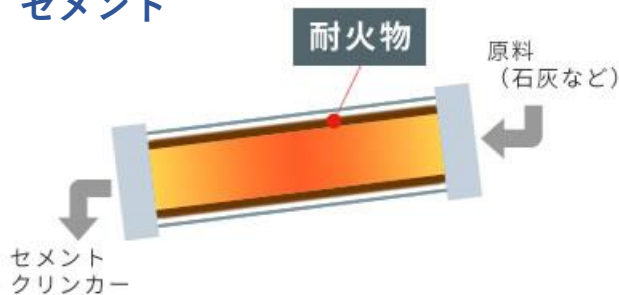
耐火物の役割

- ✓ 高温に耐える
- ✓ 溶けて流れる鉄やガラスに耐える
- ✓ 化学反応に耐える

ガラス



セメント



耐火物の製造・販売と施工・メンテナンスによる「材工一式」が当社の強み

耐火物等事業

それぞれの産業ごとに求められる
最適な耐火物を製造・販売



定形耐火物



不定形耐火物

耐火物等事業

82%

エンジニア
リング事業

18%

2025年3月期
売上高
29,305百万円

エンジニアリング事業

工業炉の設計と自社で製造した
耐火物の施工・メンテナンス

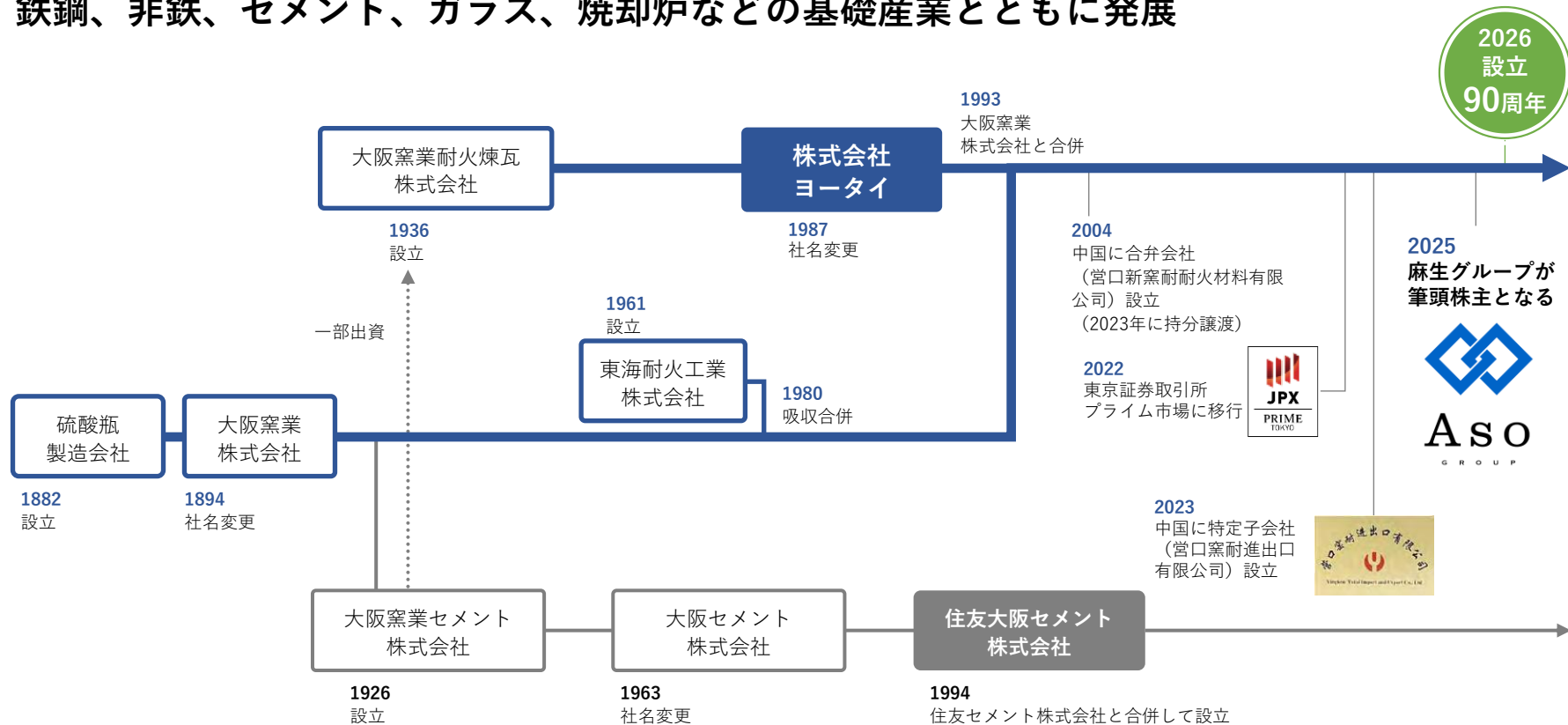


製鉄工場/
取鍋の施工



ラインチェス工法
の採用

鉄鋼、非鉄、セメント、ガラス、焼却炉などの基礎産業とともに発展



会社案内動画をご覧ください

ヨータイは、国内の耐火物メーカーにおいて、定形耐火物 生産量No.1、売上高4位のリーディングカンパニー

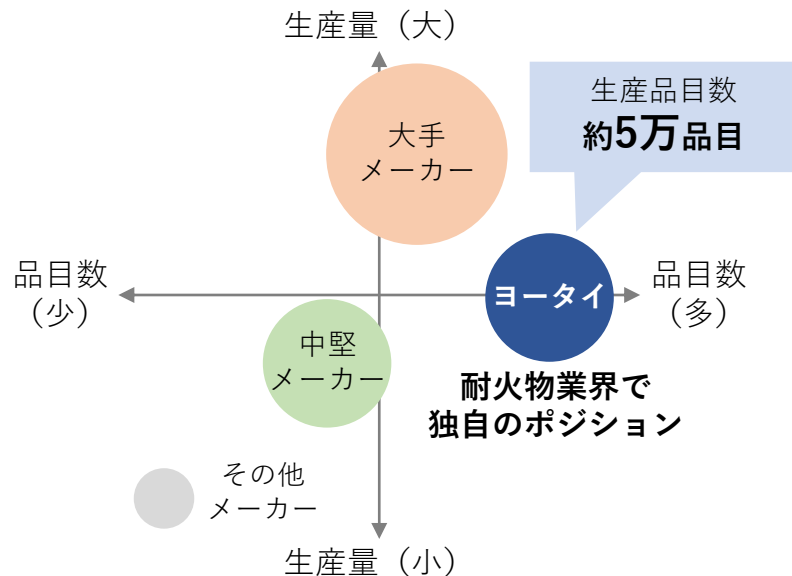
国内の耐火物メーカー連結売上高ランキング
(2025年3月期)

(百万円)

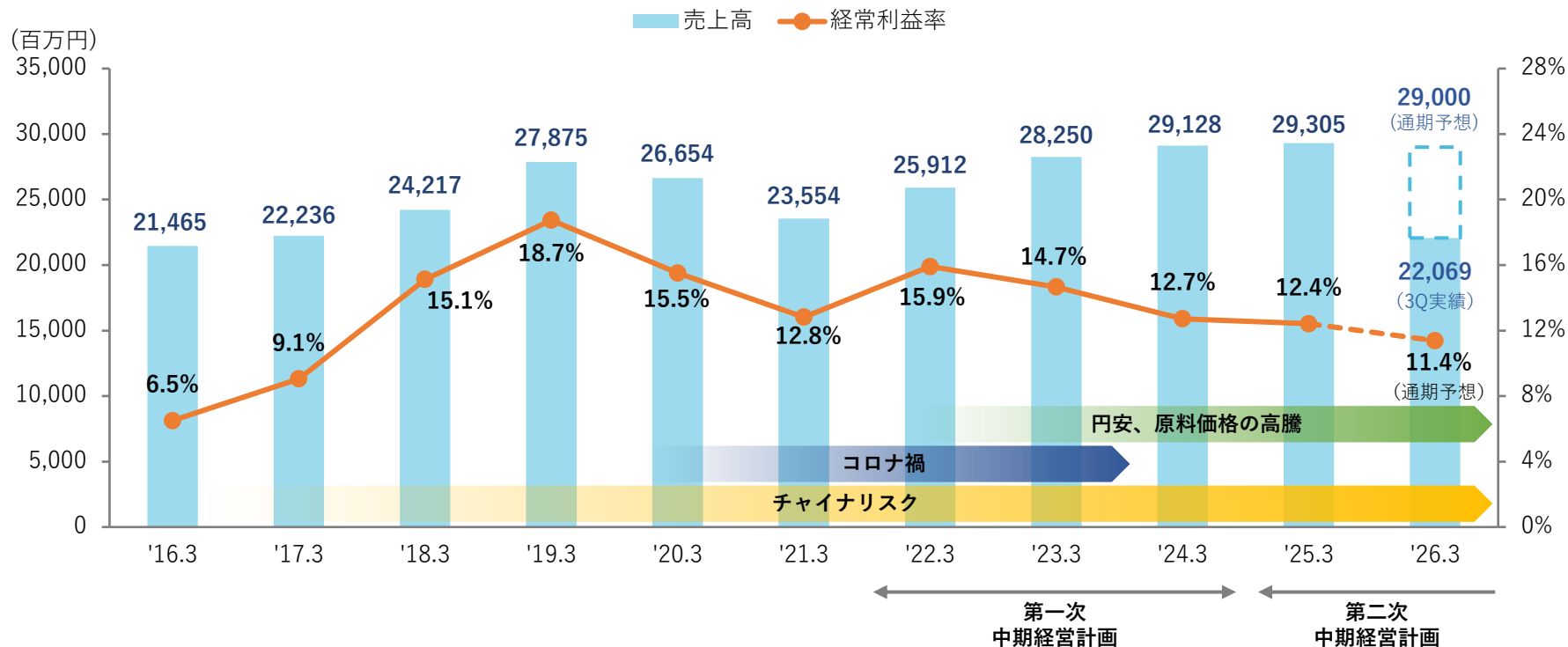
	企業名	連結売上高
1	黒崎播磨	177,921
2	品川リフラ	144,072
3	東京窯業	31,933
4	ヨータイ	29,305
5	美濃窯業	15,058

出典：各社のIR資料より

国内の耐火物メーカーのポジショニング
イメージ

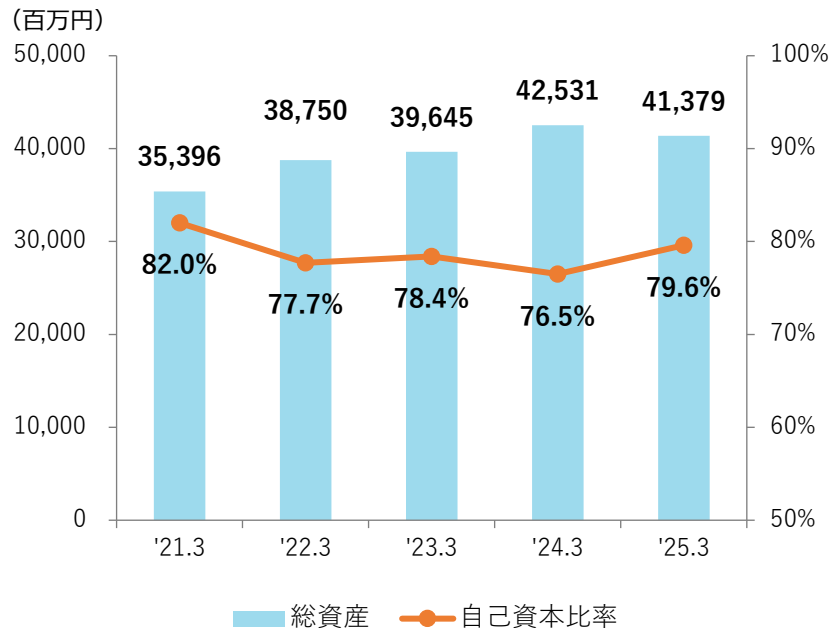


取引先業界の多角化を図り、お客様のニーズに柔軟かつ迅速に対応することで、持続的な成長と収益性の向上を図ってきた

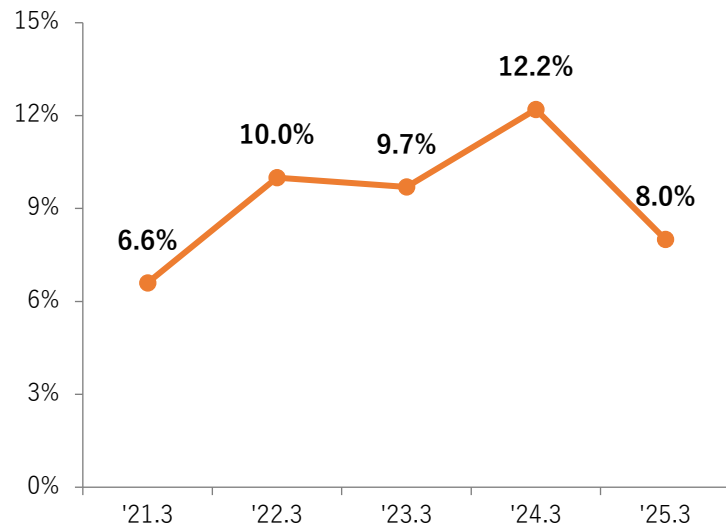


健全な財務体質と高い資本効率を維持

総資産/自己資本比率



ROE



ヨ-タイの強み

① 特定の系列に属さない独立系

② 企業文化に裏付けされた徹底したコストマネジメント

③ 材工一式のトータルサポート



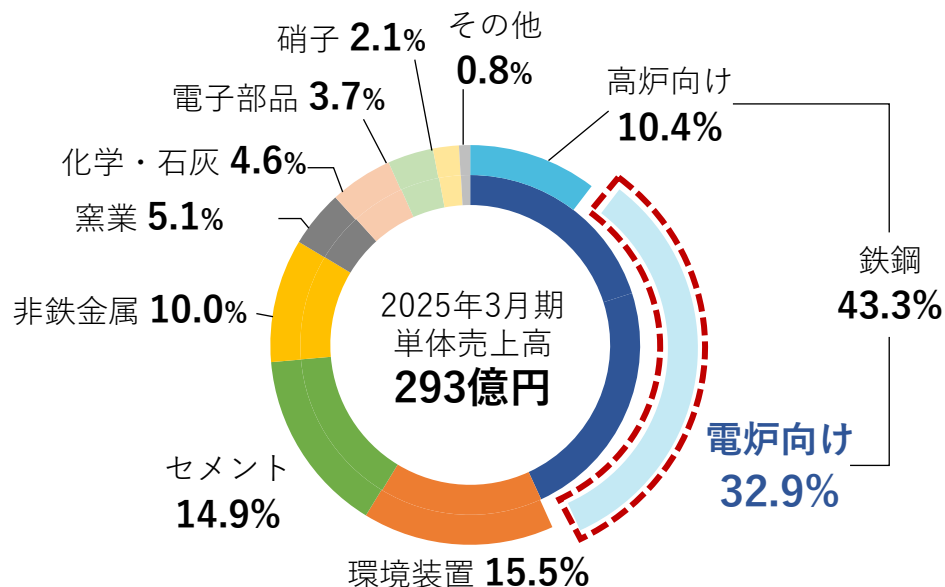
持続的な利益成長を実現

①特定の系列に属さない独立系

幅広い産業の企業と取引しており、特定の産業の動向に影響を受けにくい事業構造

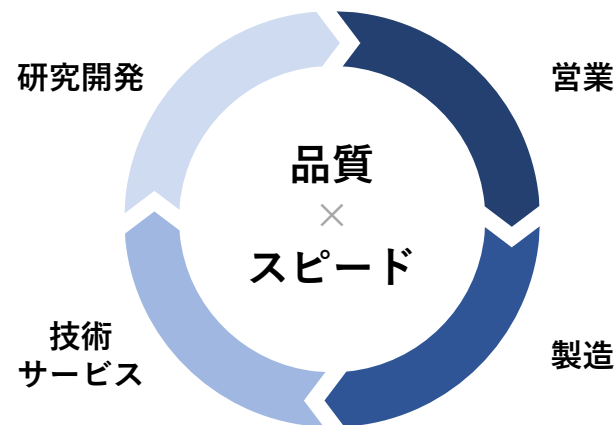
業種別売上実績（金額比）【単体】

地球環境保護の観点から需要の拡大が見込まれる
電炉メーカーのお客様を多く抱える



誠実かつ機動的な顧客対応

幅広い産業のお客様のニーズに対応することで
全社で技術・ノウハウを蓄積



② 企業文化に裏付けされた徹底したコストマネジメント

生産設備の活用と徹底した効率化の追求により、多くの品目を扱いながらも高い生産性を実現

内製化の追求

業界に先駆けロボット化を推進するとともに、最新鋭の設備を導入



自動選別ライン
(貝塚工場)



協働ロボットを活用した
成形工程 (日生工場)

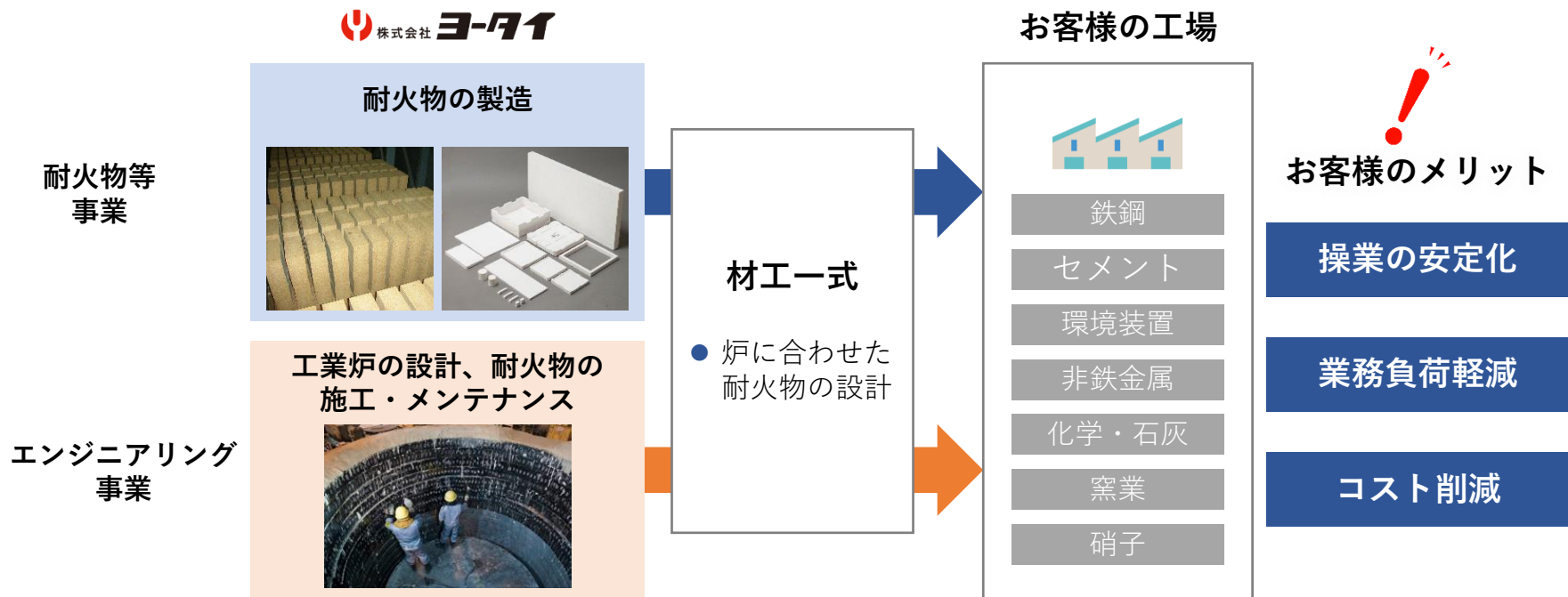
技術営業+多能工

きめ細やかな営業対応を可能にする技術営業員と、生産性向上を目的とした多能工化により、効率的な事業運営を行う



③材工一式のトータルサポート

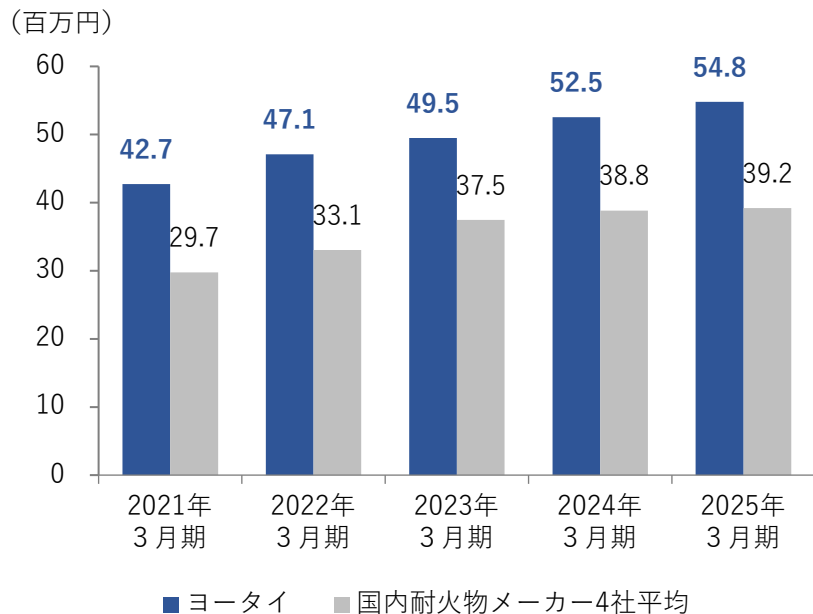
耐火物の製造、工業炉用耐火物の設計・施工・メンテナンスを行いお客様と密接な関係を構築



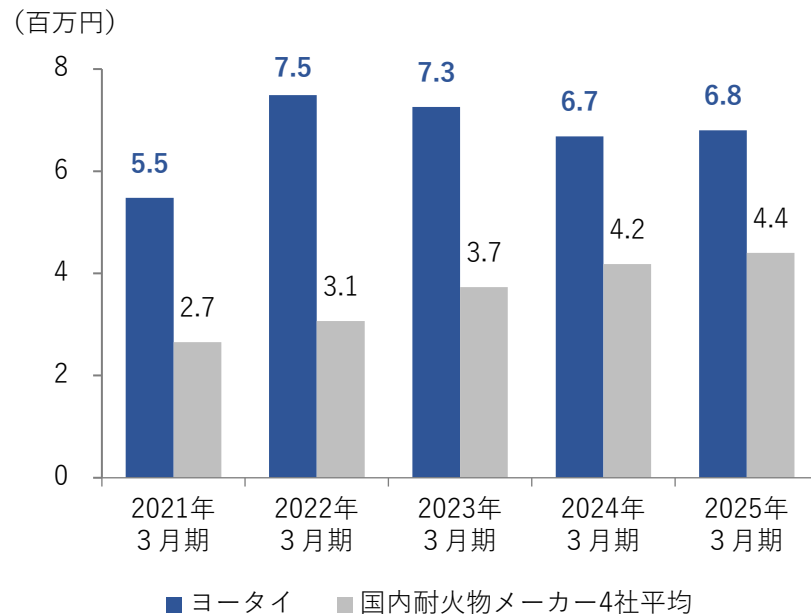
※耐火物の製造のみの取引もあり

従業員1人当たり売上高、経常利益ともに業界他社平均を大きく上回る

従業員1人当たりの売上高



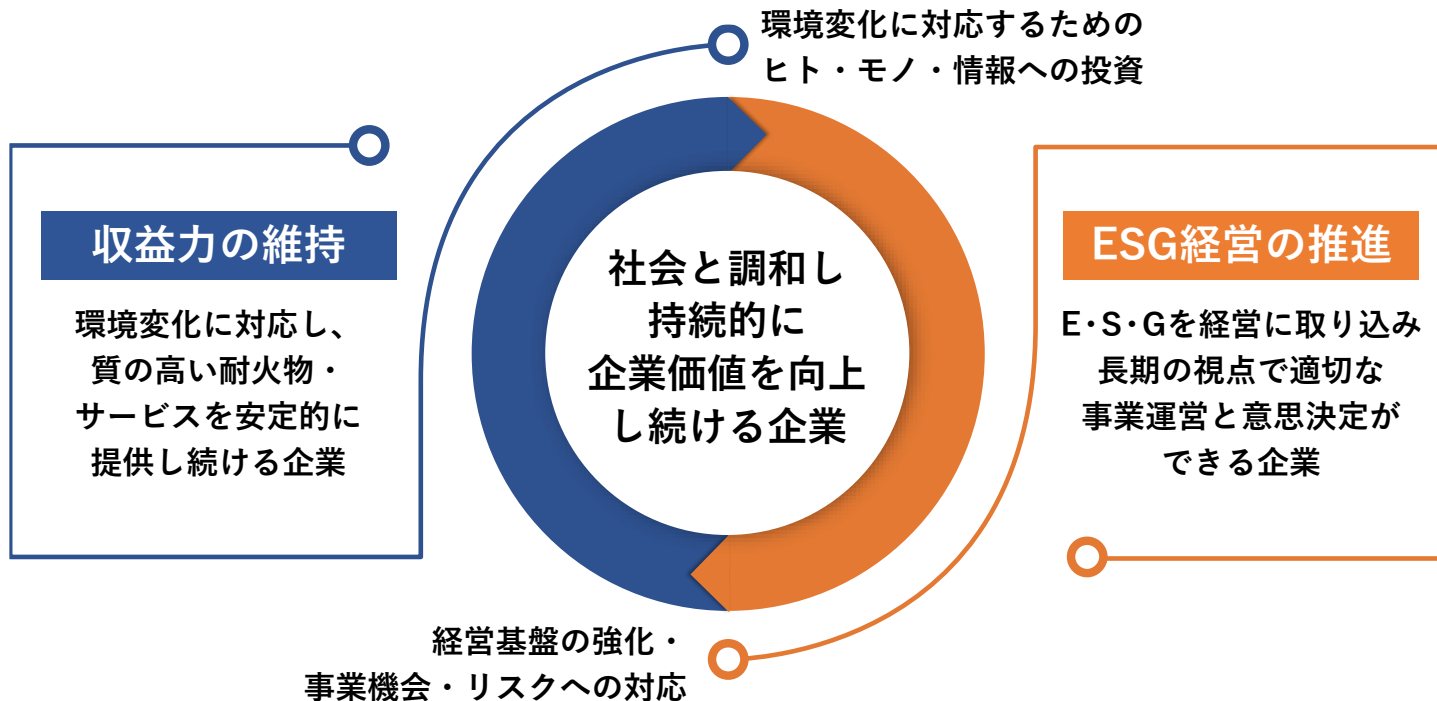
従業員1人当たりの経常利益



出典：各社IR資料

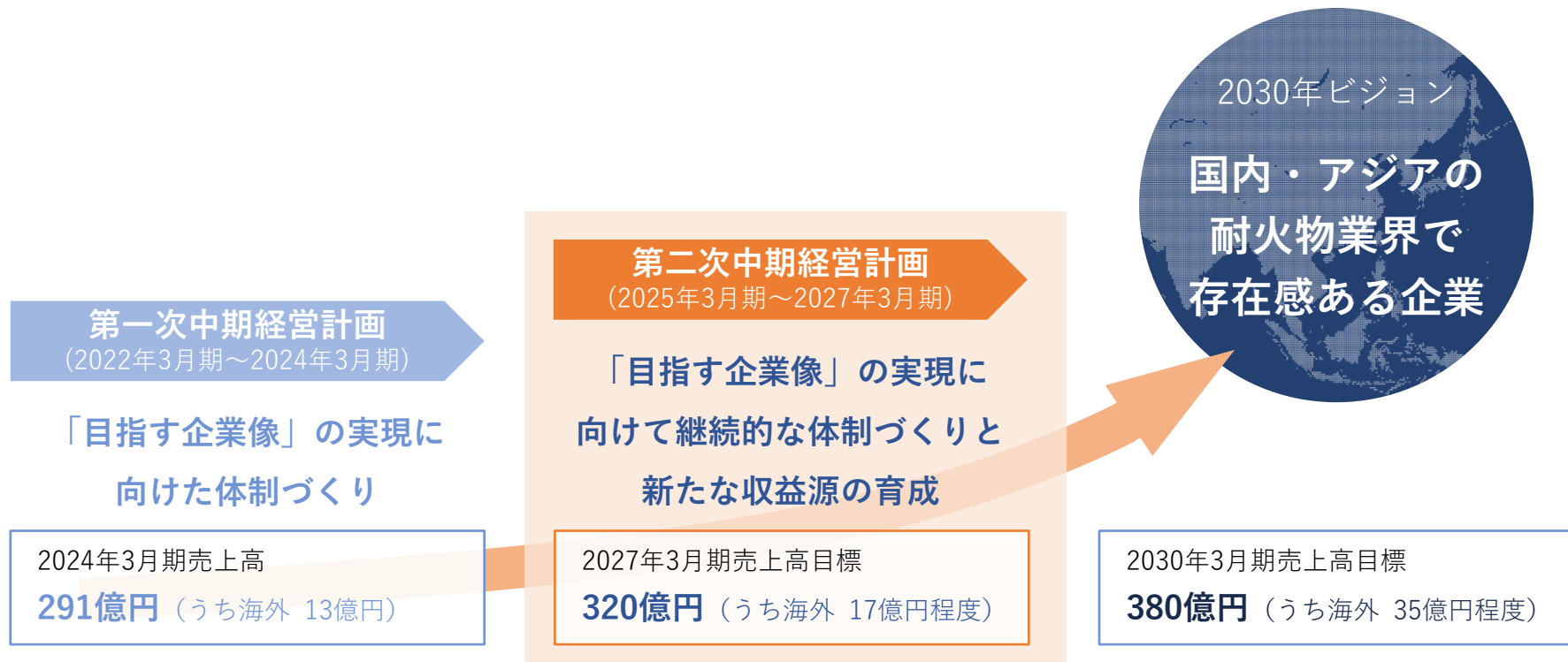
ヨ-タイの戦略

財務価値・非財務価値を高め、 持続的に企業価値を向上し続ける企業へ



第二次中期経営計画のコンセプトと位置づけ

中長期の飛躍を目指して「2030年ビジョン」を新たに制定
第二次中期経営計画で投資効果の拡大を図り、2030年に投資効果の最大化を目指す



第二次中期経営計画（2024年度-2026年度）

「目指す企業像」の実現に向けて**継続的な体制づくり**と**新たな収益源の育成**を行う期間

基本戦略・重点施策

引き続き、**ヒト・モノ・情報への投資**を行い、投資効果の最大化を図りながら、
環境変化に対応して**収益力の強化・収益源の多様化**を図る

収益力の強化・収益源の多様化

1

製品・サービスの質の
向上による売上拡大

- 新製品の販売拡大
- 技術営業員の採用
- きめ細かい営業対応

2

低コスト・
安定供給体制の強化

- 国内生産の強化と原料備蓄
- 合理化・効率化
- DXの推進

3

新たな
収益源の育成

- 研究開発体制の強化
- 海外展開
- 海外OEM品の活用

ESG経営の推進

4

ESG経営の推進

- 環境（E）
- 社会（S）
- ガバナンス（G）
の取り組み推進

第二次中期経営計画の数値目標

(百万円)

	2024.3期	2027.3期	2024.3期との比較	
			増減額	増減率
売上高	29,128	32,000	+2,871	+9.9%
営業利益 (売上高営業利益率)	3,602 (12.4%)	4,400 (13.8%)	+797	+22.2%
経常利益 (売上高経常利益率)	3,704 (12.7%)	4,500 (14.1%)	+795	+21.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高当期純利益率)	2,669 [※] (9.2%)	3,200 (10.0%)	+530	+19.9%
ROE	8.6% [※]	10.0%以上	+ 1.4pts以上	—
連結配当性向	41.4%	60.0%	+ 18.6pts	—

※連結子会社 宮口新窯耐の持分譲渡、政策保有株式縮減による特別利益の計上を除いた数値

第3四半期（累計）は、窯業及び鉄鋼向けの受注減少や原燃料費の高止まり等により、減収・経常減益。四半期純利益は公開買付けに要した費用を計上したことにより減益。

第3四半期（累計）

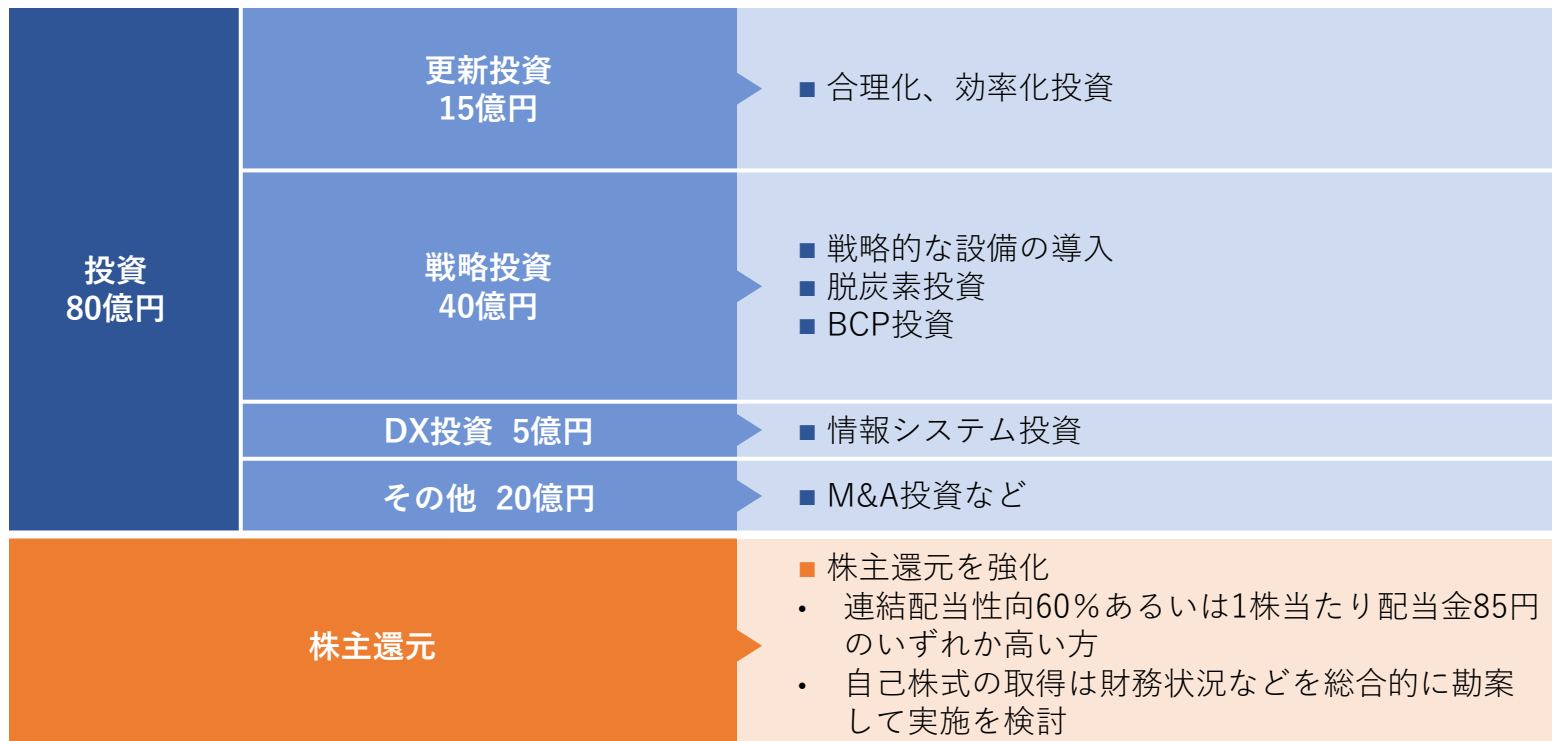
	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
2026年3月期 3Q（実績）	22,069	△1.1%	2,735	△1.1%	1,689	△13.4%
2025年3月期 3Q（実績）	22,313	+0.2%	2,767	△1.2%	1,951	△27.4%

通期

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
2026年3月期（予想）※	29,000	△1.0%	3,300	△9.4%	2,100	△19.9%
2025年3月期（実績）	29,305	+0.6%	3,640	△1.7%	2,623	△32.4%

※2025年11月7日時点の予想

投資、株主還元への資金配分を強化



※上記以外の投資についても、内容、金額を精査し、適宜検討していく方針

企業価値向上の具体策

お客様からの要望が多い新製品を開発

セメントロータリーキルン
遷移帯不焼成
スピネルれんが
(業種：セメント)



焼成れんがと比べて製造時に排出されるCO₂量が抑えられています。

大型棚板
(業種：窯業)



大型サイズに対応でき、優れた耐ベンド特性で省エネにつながります。

軽量・高耐クリープ
電融ムライト質炉体れんが
(業種：窯業)



軽量性と耐クリープ性に優れ、低熱伝導率・低熱膨張率といった特性を有しており、熱ロスを削減します。

多孔質アルミナシート
(業種：電子部品)



高気孔率によるスムーズな脱脂と滑らかな表面により、お客様製品の歩留まり向上に貢献します。

生産現場の各工程において投資を実行し、生産性と品質の向上を推進



地球環境保護に向け、再生可能エネルギーの利用を促進



吉永工場（第一製造所）

2023年8月稼働・2024年12月稼働、
2026年1月稼働
発電量：717kW

※第三期工事による太陽光発電パネルの
設置を決定（2026年6月稼働予定）



吉永工場（第二製造所）

2021年6月稼働
発電量：150kW

※第三期工事による太陽光発電パネル
の設置を決定（2026年3月稼働予定）



貝塚工場

2022年2月稼働
発電量：748kW



日生工場（西工場・東工場）

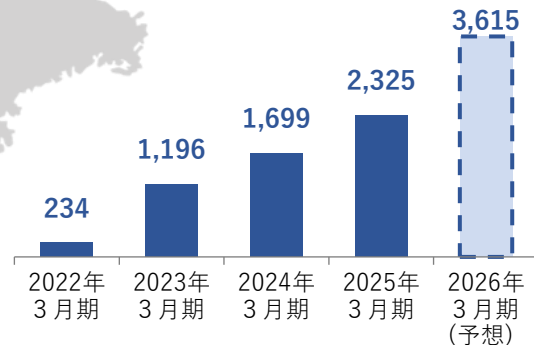
2023年12月稼働・2024年12月稼働
発電量：1,171kW



瑞浪工場

2022年11月稼働・
2025年1月稼働
発電量：1,206kW

当社の太陽光発電設備発電量 (MWh)



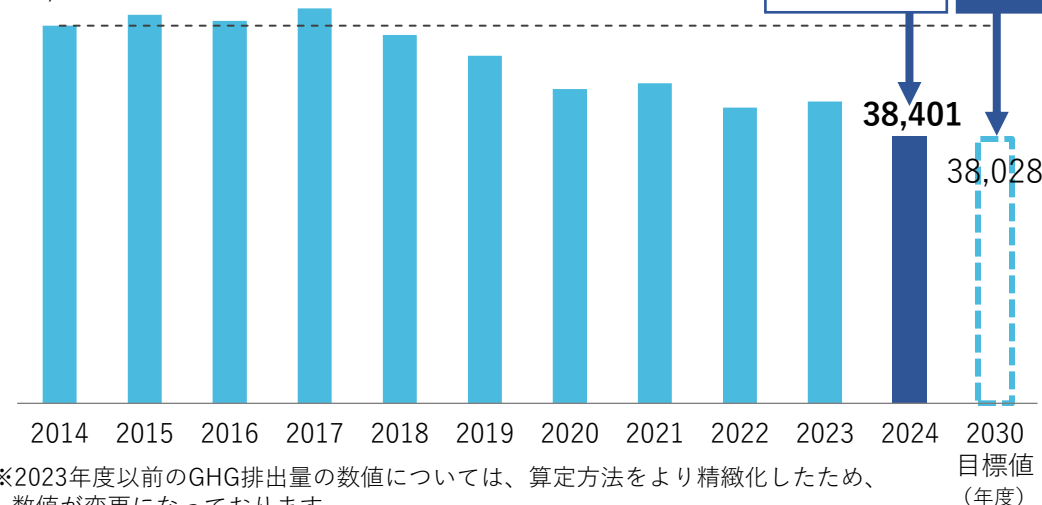
2014年度を基準年として、2030年度にScope1+2の30%削減を目指す

Scope1、Scope2のGHG排出量の開示

● 全社GHG排出量 Scope1+2

(tCO₂eq)

54,326

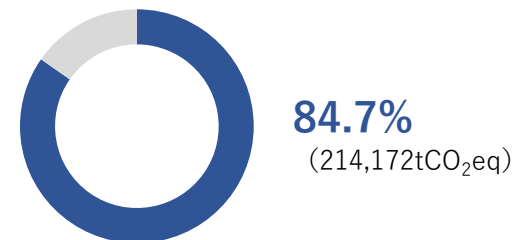


※2023年度以前のGHG排出量の数値については、算定方法をより精緻化したため、数値が変更になっております。

Scope3のGHG排出量の開示

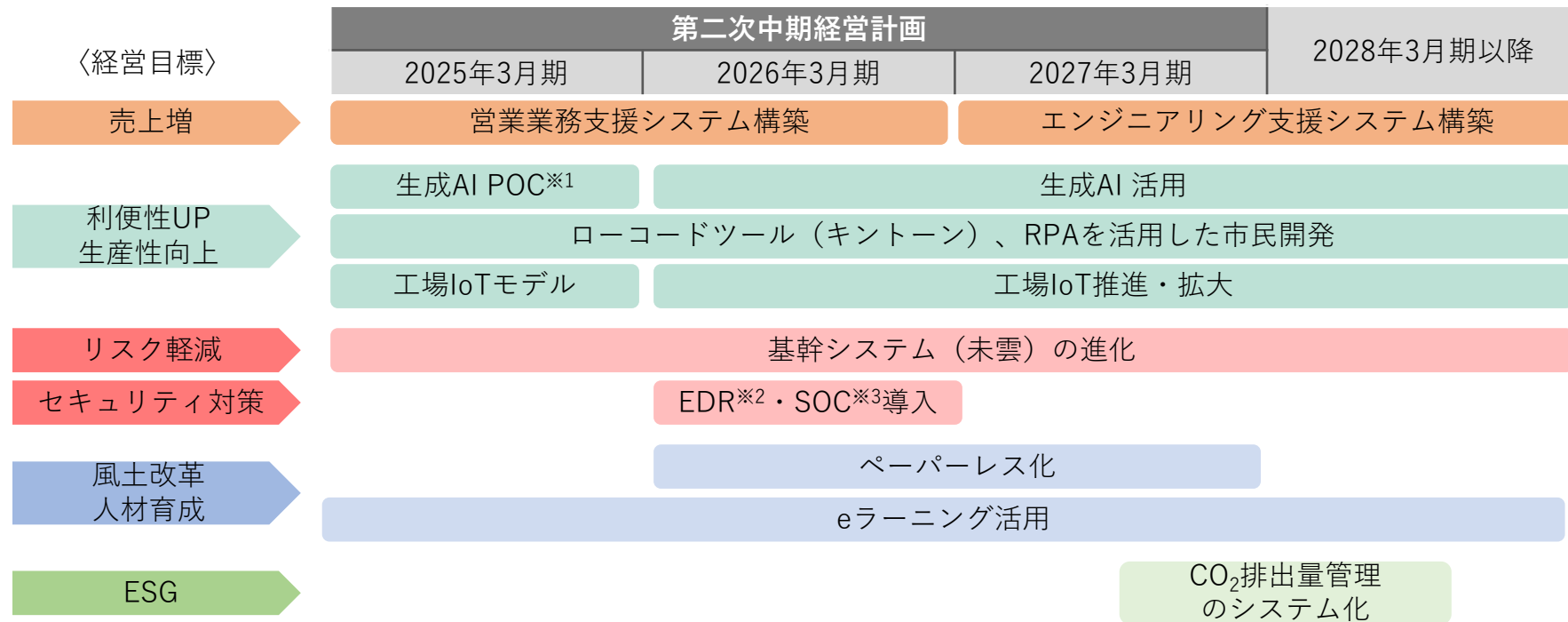
- カテゴリ1（製品・サービス購入）の排出量が全体の8割以上を占める
- 今後は関係先の支援、協力を得ながらカテゴリ1の排出量削減に注力
- 他のカテゴリの排出量削減にも取り組む

2024年度 Scope3の製品・サービス購入が占める割合



DXロードマップを策定し、具体的な取り組み事項に落とし込んで推進

また、セキュリティ対策強化のために専門資格保有者（情報処理安全確保支援士2名）を配置



※1：POC：概念実証（小さく試して効果を確認する）

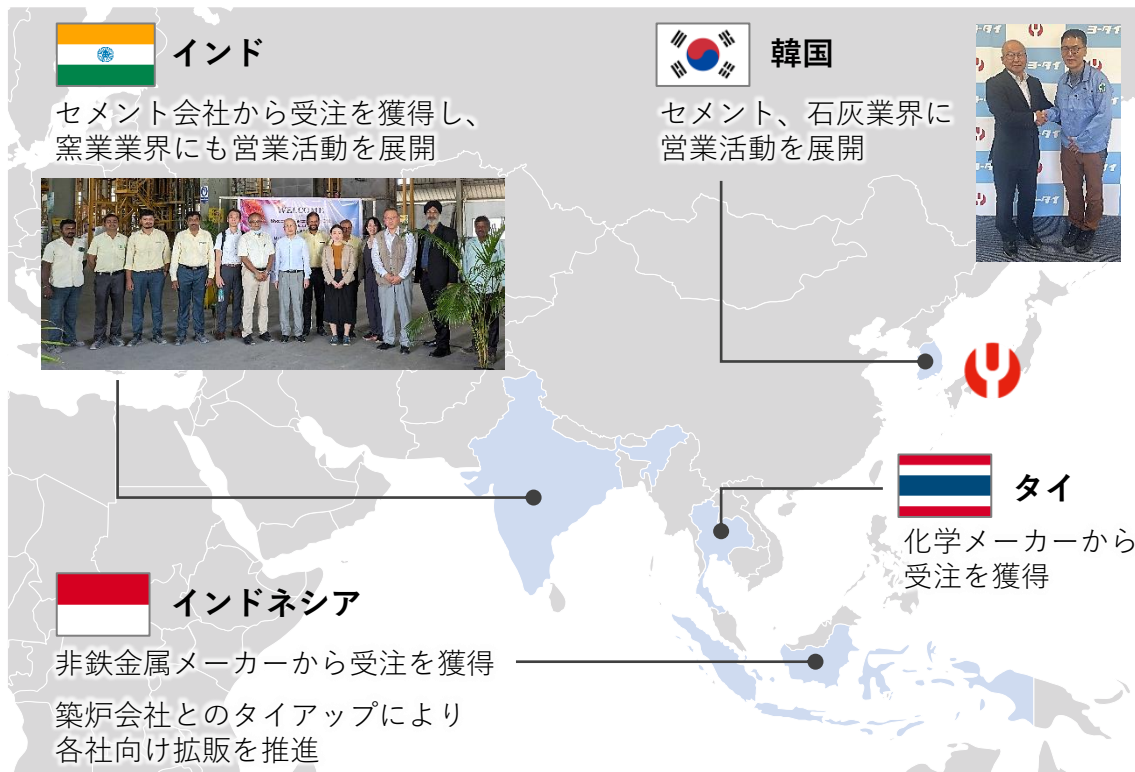
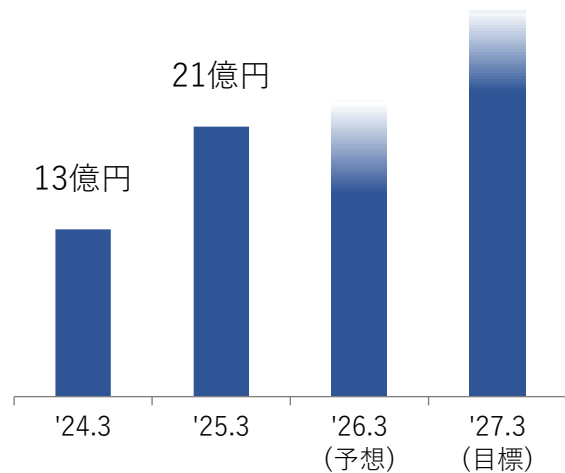
※2：EDR：端末のふるまい検知

※3：SOC：セキュリティ監視センター

2030年ビジョンの実現に向けた海外展開

鉄鋼、セメント、電子部品を中心に、当社が強みを持つ分野で地域のニーズにあわせた展開を図る

海外売上高



原料備蓄体制を強化し、安定供給を重視するお客様の要望に対応

お客様への安定供給のため原料の国内備蓄を強化

- 日生工場、貝塚工場、瑞浪工場土岐製造所のレイアウトを変更して原料保管スペースを確保し、約1年分の原料を備蓄
- 2026年内には吉永工場で原料保管スペースを確保する予定

原料の調達先の多様化

- 中国子会社を活用し、中国を中心としながらも多様な調達ルートを確認し、リスクを分散



日生工場の原料倉庫



貝塚工場の倉庫



營口窯耐進出口有限公司

情熱をもって仕事に取り組む人材が報われる組織づくり・職場環境づくりを推進

- エンゲージメントサーベイの実施（2022年3月期より）



エンゲージメントサーベイ発表会の様子

- 資格取得の推進
- 設立90周年イベントの実施

スキルアップ支援
と挑戦する
風土の醸成
社員のスキルアップと
意欲向上

個人の成長を
会社の成長に
つなげる仕組み
づくり

働きやすい
制度づくり
制度などの
ソフト面の整備

働きやすい
職場づくり
設備投資などの
ハード面の整備

- 技術研究所・エンジニアリング事業部の事務所建替え（2026年12月完成予定）



- 勤務地域限定総合職制度の運用開始（2026年4月）
- 奨学金補助（代理返還）制度の導入
- 健康経営の推進

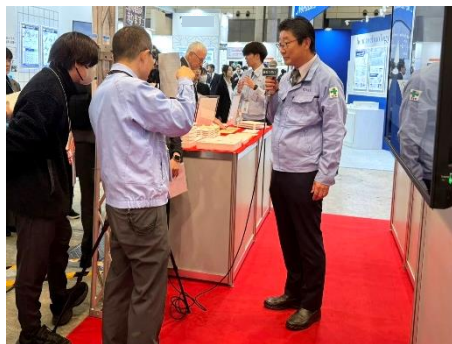


健康経営推進セミナーの様子

中期経営計画の達成に向けた取り組みを推進

高機能セラミックス展への初出展

(2025年11月)



インタビュー動画を掲載しています。
是非ご覧ください。



基板の窓口 ヨータイ

検索

Hasle Refractories社との日本国内における 総代理店契約に関する基本合意 (2026年1月)

主力製品

- 内筒向けセラミックス

実績

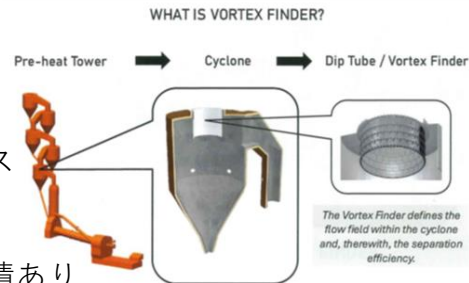
- 海外で多数の採用実績あり
- 国内セメントメーカーでも既に一部で採用

期待される効果

- 従来の鋳造品からの置き換えにより、コスト低減、
施工性と安全性の向上が期待される

Hasle Refractories社とは

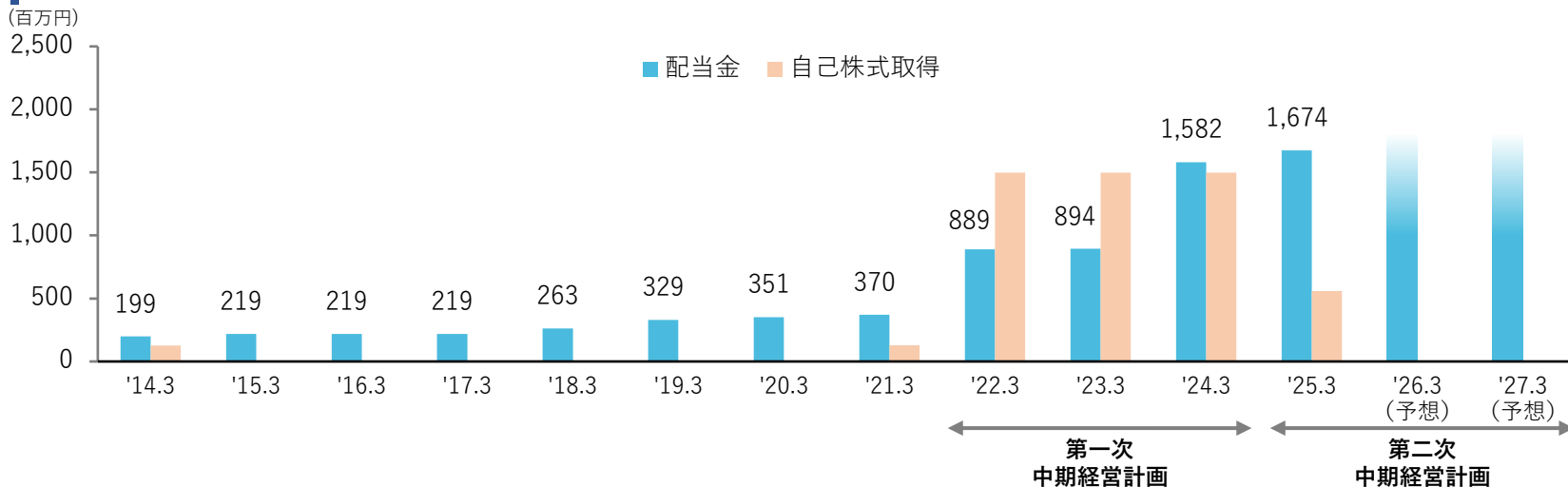
デンマークに本社を置く耐火物
メーカーで、耐火物・セラミッ
クス製品を展開



株主還元

第二次中計期間中は配当による還元を重視して、
連結配当性向 60%あるいは1株当たり85円のいずれか高い方を目標とする。
 自己株式取得は、財務状況等を総合的に勘案し、実施を検討する。

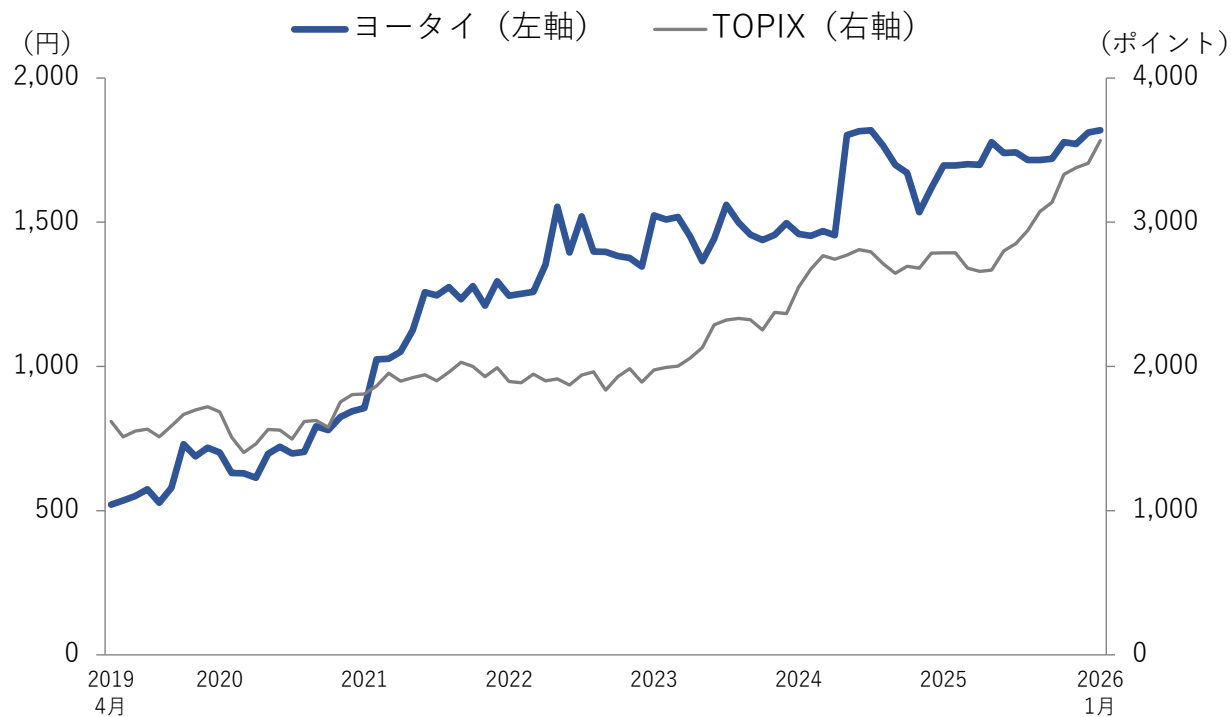
配当金および自己株式取得額



	14.3	15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	20.3	21.3	22.3	23.3	24.3	25.3	26.3	27.3
1株当たり配当金 (円)	9.0	10.0	10.0	10.0	12.0	15.0	16.0	17.0	43.0	45.0	85.0	90.0	90.0	-
連結配当性向	25.2%	23.8%	23.5%	16.0%	10.1%	9.1%	12.6%	20.1%	30.4%	30.5%	41.4%	63.5%	78.7%	-

株価（終値）の推移

東証プライム：5357



2026年2月20日現在

株価

1,966円

予想配当利回り

4.58%

予想PER

17.20倍

実績PBR

1.08倍

ヨータイについて、覚えておいていただきたいこと

1

モノづくりの根底を支える総合耐火物メーカー

2030年ビジョン：**国内・アジアの耐火物業界で存在感ある企業**

2

継続的に **経常利益率10%以上** を達成し、高い収益性を維持している企業

3

株主還元については、第二次中期経営計画期間中は配当による還元を重視して、**配当性向60%** あるいは1株当たり **配当金85円** のいずれか高い方を目標としている

統合報告書を発刊しています

投資家、株主の皆様をはじめとした全てのステークホルダーの方々に
当社の事業内容と企業価値向上の取り組みをわかりやすくお伝えしています



2025年版



2022年版



2023年版



2024年版

<https://www.yotai.co.jp/library.html>

ヨータイ 統合報告書

検索



当社の取組みは、国内外の様々な評価機関から評価をいただいています。

「CDP」気候変動レポート2024・2025年 2年連続で「B」スコアを獲得

2024年：「サプライヤーエンゲージメントリーダー」選出
2025年：水セキュリティ分野「B-」スコア取得



経済産業省が定める 「DX認定」を取得

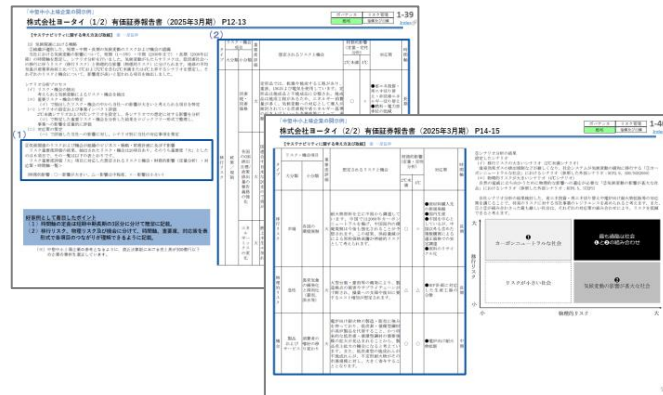


健康経営優良法人2025 (大規模法人部門) に認定



金融庁のサステナビリティ 情報開示の好事例集に掲載

記述情報の開示の好事例集 2025



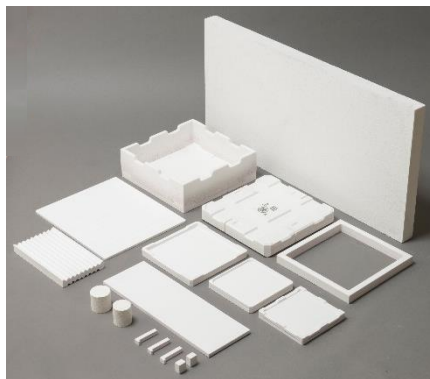
補足資料

耐火物には、「定形」と「不定形」の2種類がある

当社の得意分野

定形耐火物

ブロック状やプレート状など種々の形を持つ耐火物



不定形耐火物

粉体状や練り土状の耐火物



	分類	品種	主な用途
定形耐火物	<p>ブロック状やプレート状など種々の形を持つ耐火物。成長分野である電子部品業界で使用される耐火物の多くは定形耐火物です。</p> 	<p>スピネル</p> <p>マグ・カーボン</p> <p>アルマグカーボン</p> <p>粘土質</p> <p>高アルミナ</p> <p>その他</p>	<p>セメント</p> <p>高炉・電炉</p> <p>電炉</p> <p>汎用</p> <p>汎用</p> <p>汎用</p>
	不定形耐火物	<p>粉体状や練り土状の耐火物。粉体状製品は現場で水と混ぜ合わせて流し込んだり、吹き付けたりして使用します。練り土状製品は押し付けたり、叩き込んだりして使用します。</p> 	<p>キャストター</p> <p>その他</p>

難易度が高いテーマについても実現に向けた検討を進める

定形耐火物の製造プロセス



具体的な検討テーマ



お問い合わせ先

株式会社ヨータイ 業務部

住所 〒597-0093 大阪府貝塚市二色中町8番1

TEL 072-430-2100

この資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。